

今山八幡宮 総代会が福ざさを作り

10、11日のべおか十日えびす

商売繁盛や豊漁、豊作を願う「のべおか十日えびす」で販売される福ざさが、延岡市山下町の今山八幡宮蓬萊（伊藤佳子会長）の約20人が参加し、ピンクの法被姿で作業した。机の上でどっさりと積まれたササに、米俵や絵馬、小判、たいな

ど縁起のいい飾りをそれぞれが担当して流れ作業で飾り付けた。一つずつ丁寧に取り付けた後、飾り物のバランスを確認した。3日までの2日間で約3500個を仕上げた。福ざさの大きさによって価格が異なる。祭りの当日には、熊手や招福俵、宝船なども販売される。

同総代会の宇田栄治副会長は「コロナ禍のため餅まきなどを中止して静かに祭りが行われる。コロナに負けないうよう無病息災、家内安全、商売繁盛を祈っていると話していた。今年の「のべおか十日えびす」は、本えびす祭りが10日午前10時から午後8時まで、明けえびす祭りが11日午前10時から午後8時まで行われる。新型コロナウイルスの影響で福餅まきなどの行事を中止した。臨時駐車場は岡寛小グラウンド（10日は午後5時から8時30分まで、11日は午前9時から午後8時30分まで）。期間中は、まちなか循環バスが午前9時から午後4時台まで運行する。縁起物は12〜14日午前10時から午後3時の間も販売している。



「のべおか十日えびす」に向けて、福ざさを作る人たち（2日午前）